

# 環境報告書（第八回）

平成23年6月10日  
環境管理責任者

第86期(H22年度・22.5/21～23.5/20)

当社足立生産センターにおける環境活動も、スタート以来丸7年を経過致しました。お陰様を持ちまして、関係各位のご支援をいただき、一定の成果を得ることが出来ましたこと、深く感謝する次第です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

当社足立生産センターにおける本年度(86期)環境マネジメントシステム(EMS)の状況についてご報告いたします。

## ■ 目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	86期は少ロット化が更に進行すると共に、難度が極めて高い薄紙印刷の需要増も加わり、僅かながら目標達成には至らなかった。 今後は、小ロット対策を含め、作業全般の見直しも実施し、併せて、機械調整高度化や技術の更なる向上を推進し、目標達成を目指す。
電気を使用する ガスを使用する	有効なエネルギー資源を有効に使う	冷暖房温度管理・機械停止時の運用改善等の削減活動と共に近年の周辺設備省エネ化に資源投資した結果、一定の効果を得られ、目標を達成することが出来た。 電気については、86期中に目標値を上方修正した。今後とも省エネ化実施に向け、更に検討していく。 ガスについては、空調設備(GHP)の省エネ更新なども相まって効果が上がった。 夏季節電対策等も視野に入れて更に活動を続けていく。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	86期目標を達成した。 期中に目標値を上方修正し、インキ在庫の的確な把握と適確な発注を行う意識向上効果も相まって成果を上げることが出来た。 結果廃棄物処理代の軽減にも繋がった。
ロスミスによる用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	管理体制の効率化を図り、仕事内容の適切な把握、技術者の意識向上などを図ったが、僅かながら達成できなかった。 今後は、更に改善・向上を図り活動を推進していく。

## ■ 主な活動状況

- 当社は印刷オペレータを中心に、随時外部教育機関へ派遣し、印刷技術・知識の向上を図っているが、同時に環境活動(力量)のアップ改善へもつなげ、損紙削減活動等にも寄与している。
- ここ数年来、資源を投入して印刷機オーバーホール、工場内換気設備の改善、空調設備の省エネタイプ更新等を実施して、印刷環境の整備を図ってきた。
- また、周辺設備においても冷却水チラーポンプ及びコンプレッサーのインバーター化も実施し、その結果、省エネ活動に大きく寄与してきたと思われる。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を、更に目指していきます。